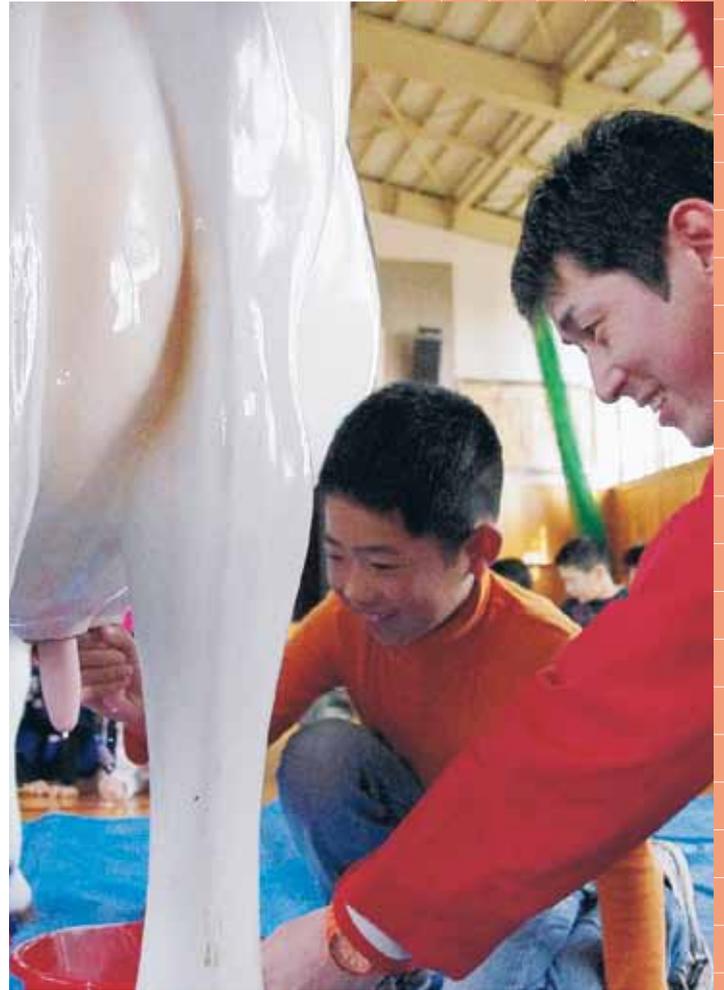


夢広がる なかしべつ

中標津町農業協同組合

1

2011
Vol.433



丸山小学校3年生への出前授業 (2010.12.21)

INDEX/目次

- 新年のご挨拶~6
- JA組合長杯ソフトバレーボール大会...7
- 乳製品工場落成~9
- 夢広がるQUIZ...10
- 普及の窓~環境整備で効率アップ...11
- 食農教育へススメ⊗青年部丸山小学校出前授業...12
- 夢広がる掲示板...13

JA中標津

検索



ケータイ用
QRコードは
こちら!!



シンボルマーク「笑味ちゃん」が「よい食」を全国に広めています。

詳しくはホームページで

よい食

検索



謹賀新年

卯

中標津町農業協同組合

平成二十三年 元旦

代表理事組合長	高橋
副組合長理事	村上
営農委員長理事	林中
生産委員長理事	小出
理事	清原
〃	長瀬
〃	滝本
〃	飯島
〃	田中
理事兼務参事	乾世
理事兼務信用部長	西村
代表	土上
監事	乾井
〃	武田
〃	小和
員外	路

外 役職員一同

勝	重	忠	清	賢	重	世	聖	昭	雅	和
義	光	雄	信	一	樹	広	浩	一	信	男
一	泉	範	同	同	同	同	同	同	同	同



自然の力に改めて 考えさせられる

代表理事組合長 高橋 勝 義



新年明けましておめでとうござい
ます。皆様には平成23年の門出をご健勝で
お迎えのことと、心からお慶び申し上げ
ます。

旧年中は農協事業運営に対し、組合員
皆様を始め、各関係組織・団体の方々、
そして町内外の多くの皆様に御支援を賜
り、厚く御礼を申し上げる次第でござい
ます。

昨年も色々な事があった年でした。21
年は冷湿害・多雨等天候で大変苦労した
年でしたので、今年こそはと意気込んで
迎えた春時期ですが、天候不順に見舞わ
れ、よもや今年もと不安がよぎりまし
た。しかし6月中頃になると一転、好天
に恵まれ牧草収穫時期には一気に作業が
進み、量・質ともに確保することができ
ました。

畑作におきましてはブロッコリー・大
根・馬鈴しょ・てん菜等生産者が期待し
ながら肥培管理に当たり、価格を維持し
つつ後半に入って参りました。

7月中旬より連日の暑さは、北海道に
おいても過去最大の猛暑に見舞われるこ
とになりました。牛は病み乳量は減少
し、乳量枠も消化が出来ない見通しとな
り、更には乳質も悪化し、経済的に大打
撃を受けることになりました。又、4月
20日宮崎県で国内10年振りに発生した口
蹄疫により、消石灰対応・消毒槽設置な
ど精神的・コスト的にも多くの負担を強
いられた年でありました。

一方、畑においても病害虫の発生によ
りブロッコリー・大根等で反収減はあり
ましたが、日本中が猛暑の傾向にあった
ため市場への回りが少なく、価格が一
定を保ちます。結果となりました。

瀬原馬鈴しょ・てん菜は21年を上回っ
たものの、平年作並みまでにはならず残
念な結果になりましたが、生食・加工
用・種子用は計画に近い収穫がありまし
た。

いずれにせよ2年続けて自然の力に大
きく左右された我々ですが、いかに自然
と向き合って生産活動を営み、安定した
経営を目指すことが出来るか、深く考え
させられることになりました。改めまし
て一年間御苦労様でした。迎えた23年は
可能性の実現のために期待をして参りた
いと願っております。

さて、心配なのは政治の行方でありま
す。国民の大きな期待の中で誕生した民
主党政権が混迷を極め、定まらない方向
性はさまざまに分野で行き詰まってお
ります。今一度失政を反省し、内外の山積
する難題に対処できるように、国民が納得
できる政治を取り戻してくれることを望
んでおります。

農協事業におきましては、地区別懇談
会でも申しあげましたとおり、経済の動
きによって今後も大きく影響を受けるこ
とになるものと見ております。役員一
同目標達成に向けて最大の努力をして参
りますので、今後とも農協事業を御利用

いただきますようお願い申し上げます。

今年役員改選の年であります。昨年
の総会におきまして、理事11名から9
名(常勤理事3名含む)へ、監事4名か
ら3名(員外監事含む)へと定数削減の
決定をいただいたの改選であります。今
後、各地区に選任を御依頼することな
りますので、宜しくお願い申し上げます。
当組合は今日に至るまでその時代に応じ
て適切な役員定数で運営して参りまし
た。次の改選により過去最小の役員数と
なりますが、少数精鋭体制で運営に臨ん
で参りますので、宜しくお願い申し上げ
ます。

この一年が、畜産や畑作にとって安定
した環境の中で生産活動に取り組めるよ
う願うと共に、組合員家族皆様にとりま
しても平穩に過ごせますことを念ずると
ころであります。

最後にあたり、この一年も多くの課題
が山積しておりますが、力強く立ち向
かって参りたいと思っております。昔から「一
年の計は元旦にあり」と申します。御家
族皆様で確認し、この激動の時代を乗り
越えていただきたいと切望いたします。

結びに、組合員始め農協事業を御利用
の皆様にとりまして、平成23年が希望に
満ちた年でありませう御祈念申し上げ
年頭の挨拶といたします。

年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章



組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成23年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申しあげます。

昨年の北海道農業は、まさに異常気象にみまわれた1年でありました。春先の天候不順が一転し6月には好天に恵まれ、豊作の出来秋に大きな期待を高めましたが、夏以降、猛暑・豪雨等により、作目全般にわたり総じて収量低下や品質低下が見られ、生産者・JAの努力が報われない厳しい出来秋となりました。

また、北海道農業は、農業者の高齢化と担い手の不足など、地域農業の構造変化が続く中で、農地制度改革や食料・農業・農村基本計画の見直し、平成22年の米モデル対策を経て平成23年は水田経営に加え畑作経営で実施される戸別所得補償制度など農業政策は大きな転換期を迎えております。

特に T P P (環太平洋連携協定) に関するは、菅首相の所信表明演説での唐突な参加検討の表明以来、国内は激震が走り大きく揺れています。JAグループ北海道は、この問題が北海道にとって重大な事柄であり、経済団体・消費者団体などとも連携し、JAグループ北海道をはじめ漁業・林業に加え、道経連・道消

費者協会等56団体共催のもとにオール北海道で昨年11月12日『地域社会のあり方等』この国のかたち』を問う道民総決起大会』を開催し、1千700人も参加をいただきました。「交渉参加の断固阻止」を訴えました。大会アピールをうけ、直ちに「北海道農業・農村確立連絡会議」として、北海道知事らとともに、政府や与野党に「農業者はしっかり生産し、国民にとって大事な食料を供給する」という、この基本を崩さないよう」強く要請いたしました。

この問題は、まさに「この国のかたち」のゆくえが憂慮される事態であり、組合員の営農と生活を守るためにも政府の暴走を断じて許すことはできません。今後も北海道の総力を挙げて強力な運動を展開してまいります。

さて、本年は『協同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」』を主題に開催した第26回JA北海道大会の実践2年目を迎えます。この決議事項である「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」は、国民の命の根源である食料生産を担う組合員が安心して農業経営に従事し、さらなるステップアップを図り、食料自給率の向上に寄与し安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の

皆さんに北海道農業を応援していただくための取り組みです。

また、JA経営では「協同と信頼の絆で築く新時代のJA」の実践によって、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることをめざすものであります。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によつては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役職員が「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年こそは災害がなく、豊稔の出来秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の「卯年」となりますよう心から祈念申しあげ、新年のご挨拶いたします。



年頭のご挨拶

根室農業改良普及センター北根室支所

支所長 **さいかいとよあき**
西海豊顕



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族の皆様と共に迎えられたことと存じあげます。

昨年を振り返りますと、春先は寒い日が続き一昨年を彷彿させられました。6月中旬以降は一変して猛暑の年となりました。猛暑の影響は畑作物においては病害虫の発生、酪農においては暑熱による乳牛への悪影響があり、農畜産物生産量の減少を招き気象による経営への悪影響を2年続けて受ける結果となりました。また、宮崎県で発生した口蹄疫により農場・ほ場防疫の重要さを再認識いたしました。更に、年末には突如、TPP（環太平洋連携協定）を含む貿易交渉の基本方針が決定され、本道農業の根幹を揺るがす方向が示されるなど経営を取り巻く環境は厳しい状況でした。

しかし、農協管内では新たな二つのTMRセンターの稼働・乳製品工場の増築稼働など更なる地域活性化に向けた取組もなされ『元気の芽』もふくらみました。元気の芽からより多くの収穫を得るためや、厳しい経営環境や気象条件に真に向から立ち向かい、安全・安心な食料を安定的に提供するためにも日頃からの経営における基礎体力づくり（土づくり、草づくり、人づくり）を行うことがとっ

ても重要と考えます。

わが家・地域の長所を認識し合い、一つずつ長所を増やすための『戦略会議』を牛乳と伯爵を食べながら実施して頂きたいと思っております。

普及センターは昨年同様、今年も組合員・ご家族の皆様と乳牛・肉用牛・ばれいしよ・てん菜・野菜たちがより多くの幸せを感じて頂けるよう、中標津町農

元気の芽から より多くの収穫を

協、役場、関係機関等と連携を致しまして活動するように職員一同努力致します。結びに、精力的な営農活動に對しまして敬意を表し、本年も皆様方がご健勝で総り多い年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年あけましておめでとうございます



青年部 部長
林 直樹

昨年中は、組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様そしてJA職員の皆様には、当青年部活動に対しまして、ご理解ご協力をいただきましたこと深く感謝申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、春先の天候不良があり、冷夏の心配をしていましたら季節はずれの猛暑が続き、農畜生産物にも大きく影響を及ぼし、乳価につきましても値下げになり、牛、人共に大変な年となりました。

青年部活動につきましても、4月に国内で口蹄疫が発生し、長引く発生状況から「伯爵じゃがいも祭り&ふれあい広場」をはじめといたします各種事業の自粛または延期を余儀なくされ、伝染病の怖さを思い知らされる事となりました。また、国政の動きとしましてもTPP交渉の表明がありました。私達農家は特に注視しなければならぬ状況となり、国際社会の一員である日本で営農する私達にとって、関税撤廃といった事がいつ起きてもおかしくないものなのか、と考えさせられる事態となりました。そんな中で私達青年部は近年力を入れていきます食農教育の充実をはかり、さらに発展させ消費者の方々に国産農畜産物の「安全、安心」をかかげ、食と農の理解を自ら求め、農業の大切さを一人でも多くの人に日本農業を応援してもらえようというPR活動していかなければならないと再認識するところでありました。

先のことをふまえ、部員一人一人になぜ青年部に入ったのか、なぜ青年部があるのか、青年部でなにをすべきなのかを今一度考えていただき、組織の強化を図り一つになり活動を続けていきたいと思っております。

皆様には、今年も私達青年部に変わらぬご指導、ご鞭撻を願いますとともに、希望に満ちあふれ、明るい年でありますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

気づこう1人ひとり行動しよう仲間とともに



新年明けましておめでとうございます。皆さまお揃いで新しい年を迎えた事と思います。日頃より女性部に対しまして暖かいご協力、ご支援いただきました事感謝申し上げます。昨年を振り返りますと4月の口蹄疫発生以降部員の皆さまには急な要請にもかかわらず募金、署名活動に協力していただきました。また、JA中標津の長瀬部長を講師に家畜防疫の勉強会を開き、視野を広げました。口蹄疫関連から例年行っております地産地消を踏まえての消費拡大事業、じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場出店の中止等各イベントの自粛で本来ならば部員の皆さまと老いも若きもで、いもだんごづくりに汗するところでしたが、その様な目的を同じくして時間を共有する事もなくちよっぴり残念な思いもしております。しかし、春の花壇の花植えに始まり、一泊研修旅行の実施、部員講師による哺育勉強会、2度の加工体験受入、手芸教室、JA全道女性大会・家の光大会参加など支部理事並びに、部員の皆さまには、多くの努力をいただき女性部が多少なりとも情報発信できたのかなと思っております。

10月にはTPP交渉参加という政府の方針が示され、もし締結されると私たちの農業や地域経済は壊滅的な打撃を受けるのは避けられません。将来不安のない農業政策をお願いしたいと切に思います。部員の皆さまにもTPP交渉参加断固阻止根管内総決起大会に参加していただき直に感じ取っていただけたと思います。

平成19年度から新3カ年計画「JA女性かわろうかえようSTEP2」食と農を育む未来計画」を実施してきましたが、平成21年度JA全国大会を大転換期として、今年度より「JA女性気づこう一人ひとり行動しよう仲間とともに」という基本方針が策定されました。ちよつと頭の隅に入れておいていただければと思います。女性部活動は一人の力ではどうする事も出来ず部員皆さまの英知を結集してこそ大きな力となり輪となりうるものと思えます。全道的に部員減少が進んでおりますが、家族の健康を守り家の中を明るく照らす太陽のように強くたくましく、時には優しく女性

の力を発揮できますことを祈念しまして新年のあいさついたします。



女性部 部長
金子ひろみ



第15回

JA組合長杯 ソフトバレー大会

JA中標津組合長杯ソフトバレー大会が12月12日中標津町体育館で開催され、町内外から27チーム、147名が参加し熱戦が繰り広げられました。

この大会は、中標津町ソフトバレーボール連盟の主催する大会に中標津町農協酪農対策協議会、消費拡大委員会事業が後援、ソフトバレーを通して牛乳の消費拡大を目的に開催されている。町内では一番大きな大会で、今年で15回目。

開会にあたり、小出清信酪対副会長が、「今年は猛暑の影響で牛乳の生産が減少、生産者は大変苦勞をしている。スポーツを通して牛乳をたくさん飲んでほしい、また、怪我をしないよう頑張ってください。」と挨拶した。

その後6コートで、優勝を目指した67試合の熱戦が繰り広げられました。



開会挨拶をする
小出清信酪対副会長



大会の結果



ヤングクラス	決勝トーナメント	優勝	ラポールA
		準優勝	Runch
ヤングクラス	親睦トーナメント	優勝	月下美人
		準優勝	チーム笑
ブロンズクラス	決勝トーナメント	優勝	ラポールB
		準優勝	ラポールC
レディース	決勝トーナメント	優勝	moppers

念願の200ml製造充填機導入 加工体験室で新商品開発を

農協乳製品工場の増改築・新充填機他導入の落成式が12月3日乳製品工場
で、高橋組合長をはじめ関係者約60人が出席し行われました。



高橋組合長による玉串奉奠

念願であった学校給食向け200ml
パックが製造出来る充填機と新商品開
発に向けた加工体験室、クリームチー
ズ製造機等の機器が導入されました。
増築事業は北海道地域づくり総合交
付金6千300万円、中標津町冷湿害
関連施設整備補助金2千400万円の
助成を受け、総事業費1億3千398
万円。工事は8月から着工され既存の
工場に202㎡を増築。新充填室、加
工体験室、冷蔵室、資材庫・梱包作業
室が新設され、総面積は418㎡とな
りました。また、凝集処理ユニット方
式の排水処理施設も新設。

落成式では神
事のあと、高橋
組合長が「念願
の施設が完成し
ました。道の補

助や町の支援もいただき大変感謝して
います。これから全力を挙げて町民
の皆さまに新商品を供給して行き

たい。」と挨拶。来賓の根室振興
局得地農務課長からは「この施設
が地域活性化に繋がって欲しい。」
また、中標津町清原副町長が「地
産地消での学校給食や新商品開発
に向け活躍を期待します。」と挨拶
していたいただきました。

続いて新充填機の稼働式が行わ
れ、高橋組合長がスイッチを入
れると「落成記念の200mlパッ
ク」に牛乳が次々と詰められまし
た。

新充填機は一時間当たり千パッ
クの製造が可能で旧充填機の4
倍の能力となります。今後は、町
内の小学生からパッケージデザイ
ンを募集して新パッケージの作成
や学校給食への参入、町内への宅
配、クリームチーズの製造、新商



来賓挨拶 ——— 根室振興局 得地課長



来賓挨拶 ——— 清原副町長



組合長のスイッチオンで稼働開始

品の開発などに全力で取組んで行く
こととなります。



充填機から製造された牛乳

加工室



試験室



排水処理庫



冷蔵室



資材庫・梱包室

凝集処理ユニット



乳製品工場配置図・導入機器

■総事業費：133,980,000円 (内消費税6,380,000円)

- 道費補助金 63,000,000円
- 中標津町冷湿害関連施設整備補助金 24,000,000円
- 自己負担 46,980,000円



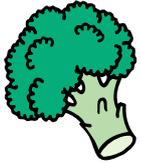
第1題

どこまで知ってる? 野菜クイズ

出題:黒川和江

私たちの身近にある野菜。知っているようで知らないことが、実は意外に多いものです。クイズ形式で楽しみながら勉強することにしましょう。野菜が今まで以上に身近で味わい深いものになりますよ。

1 私たちは、ブロッコリーの主にどの部分を食べているでしょう?



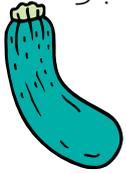
- は 茎
A 葉 B 茎
つぼみ たね
C 蕾 D 種

2 トウモロコシのひげの数はどのくらいあるでしょう?



- A 実の数の3分の1
B 実の数の半分
C 実の数と同じ
D 実の数の2倍

3 ズッキーニと同じ仲間の野菜はどれでしょう?



- A キュウリ
B カボチャ
C ヘチマ
D ナス

4 この中に1つだけ仲間外れがあります。どの野菜でしょう?



- A ヤーコン
B レタス
C ニンジン
D ゴボウ

夢広がる Quiz

イラスト:吉田静佳

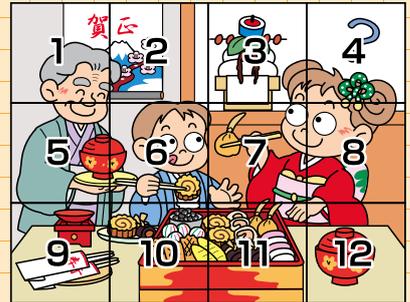


年の初めに、ゆるーい野菜クイズ・間違い探しはいかが?
みんなで楽しむもよし、1人でじっくり考えるもよし。脳の活性化で「農」の活性化だ!!

第2題 間違い探し

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を右の枠内の数字で探しましょう。

出題・イラスト:酒井栄子



今年最初の夢広がるクイズです。

12月号のクロスワードパズルの回答とあわせて、今回の第1題野菜クイズの4問と第2題間違い探しについて、皆さんの挑戦をお待ちしています。

野菜クイズは中標津町でも採れる野菜を選んでみました。全て4択です。

間違い探しは、何個の間違いがあるかを言わないので、よく目を凝らして探してみてくださいね。12月号~1月号の完全正解者の中から抽選で3人に、新春お年玉記念として農協商品券10,000円分がプレゼントされます。奮ってご応募下さい。



環境整備で効率UP!

新年を迎え、新しい気持ちで仕事や生活に向き合っている方も多いのではないのでしょうか。

住居は、大掃除を終えて新年を迎えた方が多いと思いますが、仕事場の牛舎の方はいかがですか。日頃の清掃で間に合うからと大掃除をしない家も増えているそうですが、この時期に作業環境の整備も考えてみませんか。

日常管理で美しさキープ

『使ったものは決まった場所にしまえば、特別なことをしなくても部屋はきれいに保てるでしょ』

これは片付け上手さんの一言です。

『それはわかってるんだけど、できないよ』と思った方、処理室などを見回してみてください。使用済みの物が転がっていたり、洗剤等の日用品が乱雑に積み上がっていたりということはありませんか。

片付けが苦手な方は、物の収納場所が決まっていない、足りていない等の事例が散見されます。まずは収納場所を決めること、収納場所がない場合は棚や収納ケースの設置などからはじめてみませんか。

せっかく収納しても、なにがどこにあるか分からないようでは、整理整頓といえません。ラベルの利用などをして、使う人みんなが何がどこにあるか分かる環境をつくりましょう。



収納ケースの利用で
処理室の整理整頓

搾乳機器衛生管理ボード
洗浄・清掃は仕事の一部
です



牛にとっても人間にとっても気持ちが良いもの。また衛生的な環境で生乳を生産することは、酪農家に求められている責務です。

普段の心がけと働きで、きれいな作業環境を実現させていきましょう。

記録は活用・共有しましょう

平成18年5月から、ポジティブリスト制度が開始されています。それに伴い酪農家のみなさんは、抗生物質使用記録、生乳生産管理記録、給与飼料記録、農薬使用記録、農場内消毒記録への記帳・保管に取り組まれています。

この記帳・記録の保管は『日々、安全な生乳を出荷している』ことの再確認であるとともに、万一食品事故が起こった場合にも、出荷した生乳について適正に生産していたことを説明できる根拠となり、『自分の身を守るため』の証拠にもなる』との趣旨で実施されています。

せっかく記録するのでですから、活用したいもの。また記録した内容は、記録者だけでなく、作業に従事する人全員が分かっているべき情報です。例えば抗生物質の混入事故も、抗生物質使用記録が作業従事者全員で共有できていれば防げるはず。それをするためにバンドやマーカーをつかって、治療牛を誰がみても分かるように取り組まれています。

酪農には、繁殖など、従事者全員が共有、『見える化』して管理していった方が効率的で効果的と言うことがたくさんあります。



バンドやボードの
利用で抗生剤使用を
『見える化』



作業効率UPを目指して、環境整備や記録の活用にとりくんでみませんか。

清掃を習慣づけましょう

『使った後の洗面台は、毎回から拭きして水気をきっておく。そうすれば水垢もつかないし、から拭きは癖になっているから特に大変じゃないわ』

これまた片付け上手さんの一言です。概して、片付け上手さんは清掃や片付けを生活や仕事の一部としていて、特別に大変なことと感じていないようです。



バケットミルク機の保管管理は衛生的に

汚れやすい場所は決まっています。例えばバケットミルク機、ほ乳びんなど使ったらすぐに洗浄することを習慣にしておけば、それほど苦にすることなく管理ができます。

もちろん酪農は普段の仕事に清掃やミルク機洗浄が組み込まれていることと思います。クリーンな環境は

不明な点は、お気軽に普及センターへ
お問い合わせ下さい。(☎0153-72-2163)

詳しくはホームページで

普及センター 北根室 検索



青年部



食育に
ススメ
食農教育

育てよう児童のPR大使

JA中標津青年部、PR委員会食農教育班が主体となり、以前に丸山小学校へ招かれ、生乳の生産から流通までの授業を3年2組で行った酪農課服部主任を含む14人が先生として、12月21日、丸山小学校3年生への出前授業に行きました。



学校側との事前打ち合わせでは小学校3年生の授業の中で、地域の産業について学ぶ一環として牛乳のことを学ぶ単元に取り組み、その中でちょうど生乳生産の一連の流れを学習したことから、児童の興味関心が高いうちに、青年部員の出前授業を行い、より酪農のことについて身近なものとして、さらに興味を深めさせたということ、担当教諭との協議によって例年より時期を早めました。



体育館と視聴覚室へ1クラスずつに分かれて時間が来たら交代します。体育館のクラスは、牛のエサの学習。模擬牛を使った搾乳体験。3種類の牛乳の中から一番おいしい牛乳をなかしべつ牛乳を当てる「利き牛乳」などの体験を主とした学習。多くの子供たちが正解の中標津牛乳の味を当てるなど、うれしい一幕もありました。

違うことを伝えるために、参加した青年部員の農家の写真を使いながら、少数に分かれて○
○牧場ではこんなやり方、
◎牧場ではこんなやり方、
□
□

視聴覚室での座学では、牛肉の流通について農家で生まれてからみんなの口に入るまでをスライドで勉強しました。また、今回初の試みとして、酪農家の仕事の機械で同じ搾乳方法で行っているのだと思っていたという意見も学校側からいただいたことを受けて、逆に、1戸1戸の農家の牛の飼い方から搾乳機器、機械、エサのやり方や搾乳方法まで全く

このように小学3年生の年間カリキュラムに係わり食農教育をすす



めたことで、地域の特産である中標津牛乳のすばらしさや美味しさを「学習し自ら伝えていきたい」と興味を持つ、PR大使がたくさん生まれてくることでしょう。

今回の最初「みんな、牛乳飲んでる？」との青年部の問いかけに「飲んでる」、「今日も朝飲んだ」などの子供たちの大きな声を聞いて、昨年、一昨年と比較して、小学校での食育が地域の食をからめて子供たちに伝わってきていると感じました。

そして今、小学3年生に対して継続的に、そして体系付けて、同じ内容の授業を仕掛けて行けるような仕組みづくりを関係機関と連携しながら考えていく好機なのだと思います。

だから食農教育にススメ。



夢広がる掲示板



根室管内フォトコンテスト
実行委員会は北方四島を含む
根室振興局管内を写真撮影場
所のステージとした根室最東
端の豊かな水と大地のフォト
コンテストを開催しています。
今年で第5回を数える本コン
テストは、年々多くの写真愛

**第5回目となる日本最東端
の豊かな水と大地のフォト
コンテスト作品募集中**

新着情報については、
公式HP <http://www.ja-nakashibetsu.or.jp>
に随時掲載中！
皆さまからの情報提供は、
こちらへ **72-3721**
info@ja-nakashibetsu.or.jp

■問合せ先
一般社団法人イープロジェクト（事務局）
086-1153
標津郡中標津町桜ヶ丘1丁目1番地
伝成館内 TEL:FAX0153-74-8351
e-mail : denseikan@goo.jp
WEB URL:<http://www.shiretoko.tk/>

好家からの応募が増え、地域
の特性を生かした見事な写真
が受賞されています。昨年は
流水の上でひと休みする鳥を
撮った緒方康子氏が大賞を受
賞、グランプリの6作品の中
には、森島倉雄氏（依橋）の
作品「牧草ロール」も選ばれ
ました。
応募締め切りは2
月28日。審査委員長
は日本写真家協会会
員の志賀芳彦氏。
また、1月18日か
ら23日までは1〜4
回までの入賞作品の
中から自然と野生生
物をテーマにした作
品を新宿御苑アートギャラ
リーで展示の予定。1月24日



**激動の農業・農政時代
を読み解く日本農業新
聞購読のご案内**

から30日までは川崎市役所第
3庁舎の1Fロビーにて展示
される予定となっております。

農業専門紙として、JAG
グループではJAと組合員の情
報共有運動として読者の輪を
広げるように努めております。
農業に従事されている組合員
の皆さまはもとより、農業関
連団体、農業関連事業に興味
のある方々への購読をお薦め
してはいかがでしょうか。
日本農業新聞のご購読・申
し込みは、営農部経営企画課
担当まで。
ひと月、2,450円（税
込）、最寄の新聞販売店など
からお届けします。



年末年始の業務日程

◆一般業務納め 12月30日(木)午後3時迄
◆一般業務始め 1月7日(金)

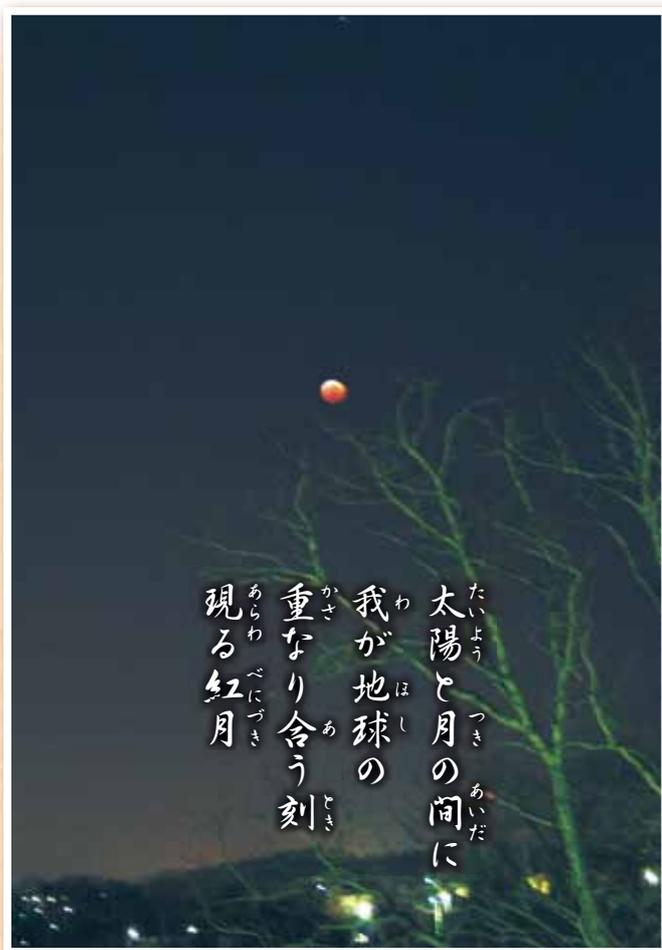
年末年始の業務につきましては下記の通りとさせていただきますので、何卒ご了承のほどをお願い申し上げます。

日程	12/30(木) 業務納め	31日(金)	元旦(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金) 業務始め
一般業務	15時迄	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常業務
貯金・組勸・共済	15時迄	休業	休業	休業	休業	15時迄	15時迄	15時迄	平常業務
ATM	事務所	15時迄	休業	休業	休業	15時迄	15時迄	15時迄	平常業務
	ある	9時~17時迄	9時~16時30分迄	休業	休業	休業	10時~16時30分迄	平常業務	平常業務
ある(Ａコープ)	9時~20時迄	9時~17時迄	休業	10時~17時迄	10時~17時迄	10時~17時迄	平常業務	平常業務	平常業務
資材店舗	15時迄 配達受付12時迄	休業	休業	休業	休業	12時迄 配達受付10時迄	12時迄 配達受付10時迄	12時迄 配達受付10時迄	平常業務
給油所	農協前	平常業務	15時迄	休業	休業	休業	平常業務	平常業務	平常業務
	桜ヶ丘	平常業務	15時迄 洗車機17時迄	休業	休業	休業	平常業務	平常業務	平常業務
人工授精	平常業務	平常業務	受付9時迄 午前業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務
生乳検査	平常業務	平常業務	休業	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務
乳製品工場	平常業務	休業	休業	休業	休業	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務

酪農ヘルパー業務年中無休 緊急受付 ☎ 090-6697-9562 (担当直通)

■発行／中標津町農業協同組合
 ■編集／営農部 経営企画課

■〒086-11007 北海道標津郡中標津町東7条南2丁目1番地
 ■電話／0153-7213721（編集直通）
 ■公式Webアドレス／<http://www.ja-nakashibetsu.or.jp>



月食が起こる仕組みをうたにしました。

月が完全に地球の影に入る皆既月食が師走の12月21日夕、日本列島の大半の地域で観測できました。天候に恵まれた中標津町内では、うっすらと赤く見え、幻想的なレッドムーンだねなどの声もありました。今回のように夕方近くに見られる皆既月食は太陽光の一部が大気で屈折して月に届くため、完全に真っ暗に見えるわけではなく、夕焼けと同じように赤銅色に見えることも多く、科学発展の前夜には、皆既月食は気持ちの悪い月、悪いことの前触れとして考えられていたこともありました。

日本での皆既月食は2007年8月28日以来、約3年ぶり。次に中標津で見られるのは、平成23年12月10日深夜の皆既月食だそうです。

■印刷／雨宮印刷株